

マスクをつけられない方へのご理解をお願いします

マスクをつけたくてもつけられない方がいます

- ・新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、外出時など「マスクの着用」が推奨されていますが、マスクをつけたくてもつけられない方々があります。
- ・発達障がい、感覚過敏、脳の障がい、皮膚や呼吸器の病気などさまざまな原因で、マスクを着用すると肌に痛みを感じたり、気分が悪くなったり、体に異変が生じてしまう方々です。
- ・周囲からはわがままと誤解されたり、厳しい視線を向けられたり、心ない批判を受けることもあります。

社会全体の理解が必要です

- ・マスクの着用が当たり前となっている今、マスクを着用していない方を見たらまずは「何か事情があるのかもしれない」と想像してみてください。
- ・障がいや病気の症状があって、マスクを着用できない方々がいることを知り、その特性や事情を理解し、お互いに思いやりの心を持って過ごしましょう。

意思表示をして理解してもらおう

- ・障がいや病気などでマスクの着用が困難な場合は、「マスクをつけられません」と周囲にお知らせする意思表示カードなどを携帯し、理解してもらえるように工夫する方法があります。
- ・意思表示カードなどはインターネット上でダウンロードできるものもありますのでご活用ください。